



森亮二(もり・りょうじ) 流山市議会議員プロフィール

1976年6月12日生まれ。流山市立新川小学校、北部中学校、日本大学第一高校、武蔵大学経済学部経済学科卒業。大成建設(株)社員を経て、2003年に当時最年少の26歳で流山市議会議員に初当選。07年にシンクタンク・東京財団政策研究部に在籍し、世界や日本の地方政治・地方自治を研究。11年に流山市議会議員にトップ当選。以降トップ当選を続けて現在4期目。21年5月に第30代流山市議会議員に就任。

4面から
森 流山も2009年に議会基本条例ができて、いいのは「究極の理念」を掲げているんですが、逆にその理念があまりにも高貴な理念なので、そこに従うとなると、「議会改革も全会一致、全員が合意しないとダメだ」と、改革するのに合意形成が少し丁寧すぎた。しまい時間がかかってしまいました。

中澤 これはどこも同じだと思いますよ。森 時々、トップダウンと必要な時はありますよ。中澤 子ども食堂の運営
中澤 今我が国は実に7人に1人の子どもが貧困状態にあるといわれていますが、流山市での子ども食堂の現状については?

森 流山は今数えてるところでは、17食堂が立ち上がっています。中澤 それはすごい。森 ひとつ特徴なのが、議員さんが個人の活動として子ども食堂に関わられていたりする方が、実は非常に多くて。その結果として良かったなと思うのは、議員の皆さんは人的ネットワークなどが豊富なので、17食堂をネットワーク化させたんです。そうすると、お互いに「どこで食材が困っている。人が困っている」というのを助け合える仕組みをネットワーク化したことで、100%じゃないけど出来上がりました。

お話のようにネットワークとか、食材の調達の話とかまでは全然まだ及んでないです。私も個人的に議員活動で、近隣の松戸市の方とかも関わってくれてNPOが立ち上がりました。それが「どうかつ草の根フードバンク」です。企業さんからの食材に関しては、そのNPOに入ると、加盟しているネットワークにうまく配分される仕組みができたのかな、というところがあります。中澤 それはすごい仕組みですね。森 そうですね。それで市にも今までは、当初は「お金の協力をしてくれ」とか言ってきたんですけど、今のところ市のサポートは広報を中心としたもので、流山は市民活動が活発なので、あんまり行政が関与しないところで、そういう事が今進んでいる状況です。中澤 これはいい話ですね。印西では単発で子ども食堂というのを見受けられるんですが、ただ、今の



森 素晴らしいですね。中澤 しかし「議員が表立ってやるのもなあ、これはどうかな」というのがあるじゃないですか。森 そうですね。でも流山は、ある程度〇〇議員さんが関わっている」という認識の下、市民の皆さんが許容して、売名行為とかじゃない中で、むしろネットワークワーク化とか、議員が関わることでのメリットを上手に活かして子ども食堂が全体的に機能しているのかな、と思います。私もひとつ還元できたのが、流山市は物流施設計画がすごく、「東洋一の物流施設」と全部で14棟建つ計画が流山インターチェンジのところまで進んでいます。そこに大手の外資系物流倉庫さんと、国内トップの物流施設さんが来てくださっているんですが、その企業さんが「地域に貢献したい」ということを非常に言ってくたさるんです。その一つの「子ども食堂支援」が今始まっています。一つは日本の国内トップの物流施設運営会社さんが、子ども食堂の子どもに物流施設を見学してもらい、施設の食堂で食事体験してもらい、さらには環境教育をやったことがあり

トがいくつかありました。子ども食堂を必要としている子どもも、意外とこちらが考えているより多いんです。環境教育をやってくれたんですね。森 多いと思います。中澤 ですから、その子たちの為に、何とか地元でも、印西でも形にしたいなと思ってます。ただ、議員だと寄付行為の問題とか、売名行為とか、いろいろ立ってやるのはどうかな。思ったんですけど、今の話を聞いたら、そこは子ども

の事を優先に考えれば、そんな事にこだわっている場合じゃないかと。森 そうですね。今のところ(議員が)28人いて、子ども食堂に関わっているのが7、8人位います。その方々も会派やグループは違うんですが、連携しあうところはあつて、「食材がこっちは豊富だから、ちよつと回そうか」とか、そういう姿を見ていると、本当に「子どもをみんなで助けよう。支えよう」という風土になってます。普通だと「選挙目的だ」みたいな話になって足引っ張り合いになるんですけど、むしろ協力し合ってます。中澤 売名行為みたいに取られ、そんなつもりは無くても変に誤解されないかなとか、余計なことを考えちゃいました。森 流山の場合は飛び越えて、子ども食堂では先進的になるのかなと思います。茨城県つくば市の前副市長さんと意見交換した時に「流山さんのように議員がそこまで関わっている子ども食堂地域はあまりない」と、むしろ驚かれました。逆にそこでネットワーク化とか成果を上げていくことをすごく評価いただいたので、関わっている側からすると「ああ、やって良かったな」と思っています。中澤 これ、いい話ですね。森 ありがとうございます。中澤 印西市ではデータセ

市内全域無料 Wi-Fi 5G・6G 高速通信

【利根新報編集部より】 両議長とも年末のお忙しいところ弊紙の対談企画に

し、そんな街づくりもこれからのいいな、と思つてます。そうなる事で「起業するなら印西市」とかどうですか? 森 素晴らしいです。中澤 グーグルがせっかく来てくれたんで、すごい好意的なんです。ただ、向こうも何をしたいのか分からないので、お互いに探りあつてもいいかなと思います。 デジタル、情報通信の方は、ゆくゆくは高速通信、5Gから6Gへのそういう流れになっていくと思えます。特に情報通信系・IT系の企業がせっかく来てくれたので、行政とデータセンターが協力して、市内全域をどこまでカバーできるかにもよりますが、高速の無料Wi-Fiが飛んでいるなんて、これはこれで一つの売りかなと思います。 森 なんかグーグルさんを巻き込めると、面白い可能性が広がります。中澤 そうですね。印西市の人口推計によると、少子高齢化の進展により今後、人口減少局面に入ります。子育て世代から選ばれる街へ、加えて企業立地を促進し法人にも選ばれる街へ。個人の減少を法人でカバーできるように、起業しやすい魅力的なエリアに成長させ、そこで得た税収を市民に還元する経済の好循環を実現したいと考えております。